

科 目 名
コンピュータシステム実験Ⅱ Practices of Computer System Ⅱ

3 年 前期 1 単位 選択

木村 義政・青木 振一
田上 晃

概 要

本実験では、パソコン（PC）を部品レベルから組み立てる。パソコンがどのような部品から構成されているか、どのような形状をしているかなどを理解する。また、パソコンを組み立てながら、組立て上の注意点、組立て方法を習得し、自分自身でパソコンを組み立てることができることを目指す。次に、オペレーティングシステム（OS）をインストール（搭載）することにより、コンピュータの構造と動作を理解し、OS の働きを確認する。そして、LAN 構成を構築し、ネットワーク通信の基本技術を習得する。

目 標

- 1) パソコンを自分自身で組み立てられる。
- 2) パソコンの管理者として維持、運営ができる。
- 3) ネットワークとしての LAN などの構築ができる。

授業計画

テ ー マ	内 容
① PC の組立て(1)	組立て作業の注意点、パソコンの構成部品
② PC の組立て(2)	パソコンの組立て
③ PC の組立て(3)	BIOS の設定、OS のインストール
④ PC の組立て(4)	動作確認
⑤ OS の動作(1)	OS の環境設定、メンテナンス、トラブル解析
⑥ OS の動作(2)	サウンドカードの組込み、アプリケーションインストール
⑦ OS の動作(3)	フォルダの共有
⑧ OS の動作(4)	プリンタのインストール
⑨ ネットワーク通信(1)	ネットワークの基礎知識、IP アドレスなど
⑩ ネットワーク通信(2)	TCP/IP 環境設定、接続状態の確認
⑪ ネットワーク通信(3)	ネットワークアプリケーション
⑫ PC の分解	パソコンの分解、部品確認

授業方法

1 班 3 ～ 5 名構成で実験する。実験は班全員が参加し分担して行う。実験報告は、所定の様式で指定された期日までに、それぞれの指導担当に提出する。

評価方法

実験に対する取組み姿勢と実験報告書により判定する。

教 材

教科書：崇城大学 編「コンピュータシステム実験テキスト」

履修上の注意

- 1) 班全員が参加し、分担して実験を行うこと。
- 2) 実験報告書は所定の期日までに提出すること。